

議会だより そとがはま

第56号

令和元年5月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

6月11日(火)~13日(木)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



鼓笛隊がんばったよ (風のまちこども園)

目次

○新組織体制決定 / 2~3

○第111回3月定例会 / 4~9

○一般質問 : 4議員が登壇 / 10~13

○議員表彰ほか・第112回臨時会 / 14~15

「令和」の幕開け 議会新体制スタート

任期：平成31年4月26日～令和5年4月25日

鈴木議長・記田副議長に決定

任期満了に伴う町議会議員選挙が4月21日に行われました。5月9日には第113回臨時会（初議会）が行なわれ、議長と副議長、常任委員会などの議会構成が決まりました。また、町長から提案された専決処分報告6件及び議案1件を審議し、報告6件を承認、議案1件を否決し、閉会しました。



議長：鈴木 進

このたび、令和元年5月9日開催の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により再度、議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。議会の代表として全力を傾けて、公平・公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。さて、「令和」という

新たな年号になりましたが、当町では少子高齢化や若者の町外流出による人口減少が止まらず、大きな課題の一つとなっております。

地域の産物を活用した一次産業の振興と、町民の皆様が安心して暮らすことができる町づくりに向け、町民の皆様のお声をしっかりと拝聴し、行政と議論を重ねるとともに、議会といたしましては、英知を結集し、課題解決に努めてまいります。町民の皆様には、議会に対する今までのご理解とご協力をお願い申し上げます。



副議長：記田 慶市

先般、議員各位のご推挙をいただき、再度副議長に就任させていただきました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感し、議長を補佐し、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。来年度からは合併に係る国からの援助金は0となり、一人立ち出来る町づくりを努めてまいりますので、一層のご支援をお願いいたします。

本会議では議長・副議長の選挙が行なわれ、議長には鈴木進議員を、副議長には記田慶市議員を選出しました。

議長・副議長選挙のあとは総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会の委員を選任しました。次に、青森地域広域事務組合議員2名を指名推選により選出しました。また、議会広報特別委員会委員を7名選任し、議員全員で構成する国道280号バイパス建設整備特別委員会と、ホタテ貝残渣処理対策特別委員会を設置しました。議員選出監査委員は、審議の結果否決となり、本会議での選出は見送りととなりました。各常任委員会、議会運営委員会、各特別委員会の構成については、次のページのとおりです。



総務文教常任委員会

総務課、住民課、福祉課、税務課、中央病院、老人保健施設、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員及び議会事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項等に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行ないます。

- 委員長 柚谷 和穂
- 副委員長 福井 洋一
- 委員 浜谷 恭市、安藤 英博、記田 慶市、鈴木 進

産業建設常任委員会

建設課、産業観光課、農業委員会の所管に属する事項等に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行ないます。

- 委員長 戎 修
- 副委員長 高坂 茂
- 委員 石岡 勉、三上 満、原 芳雄

議会運営委員会

議会運営の調整や会議規則、委員会条例などの調査・制定を行います。

- 委員長 浜谷 恭市
- 副委員長 三上 満
- 委員 福井 洋一、戎 修、高坂 茂、柚谷 和穂、記田 慶市

議会広報特別委員会

- 委員長 安藤 英博
- 副委員長 福井 洋一
- 委員 浜谷 恭市、戎 修、高坂 茂、原 芳雄、記田 慶市

国道280号バイパス建設整備特別委員会

- 委員長 石岡 勉
- 副委員長 柚谷 和穂

ホタテ貝残渣処理対策特別委員会

- 委員長 戎 修
- 副委員長 高坂 茂

青森地域広域事務組合議会議員

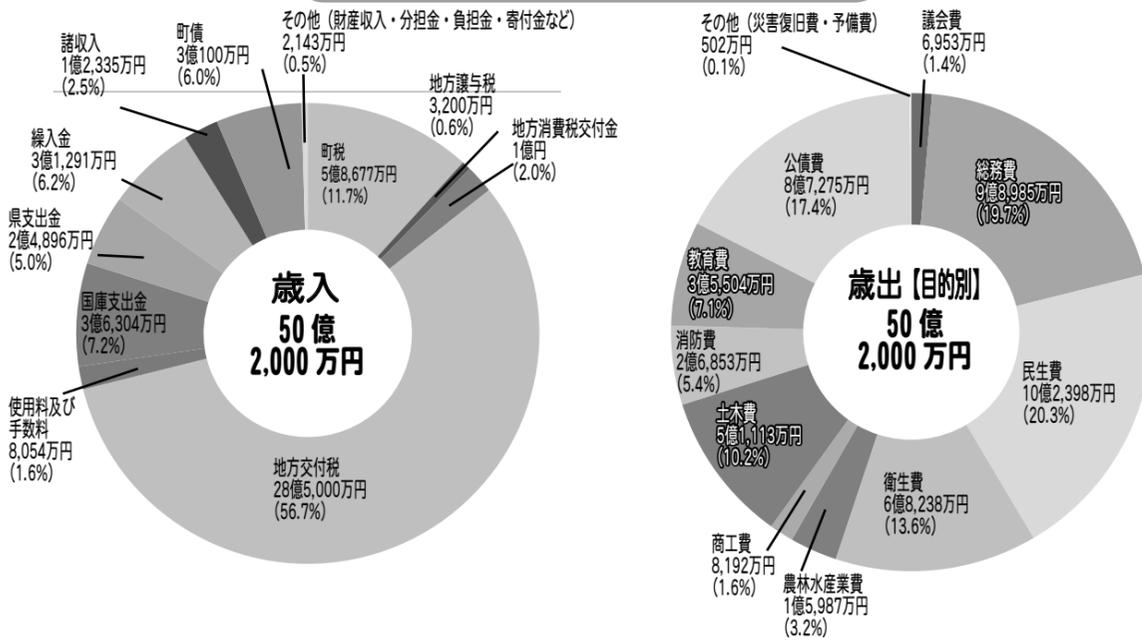
- 安藤 英博、福井 洋一

平成31年度予算

一般会計・特別会計・企業会計

総額92億5千3百万円として可決

一般会計予算の内訳



3. 一般会計

第111回定例会は、3月7日から14日までの8日間の日程で開催。平成31年度各当初予算案、平成30年度各補正予算案、町条例の制定案と一部改正案、議員発議などを審議しました。平成31年度の一般会計、特別会計などの当初予算案については、予算特別委員会を設置し、集中審査の結果、一般会計及び特別会計・企業会計は、全て原案のとおり可決しました。一般質問は、4人の議員が行いました。詳細は登壇順に10〜13ページに掲載しています。

一般会計
50億2千万円に
(前年度より1億7千万円減少)

この8月11日(水)は、平成31年度一般・特別会計の歳入・歳出の審議が行われ、歳入・歳出の状況が明らかになりました。歳入は50億2,000万円、歳出は50億2,000万円と、歳入・歳出が等しくなりました。歳入の内訳は、地方交付税が56.7%を占め、町税が11.7%、国庫支出金が7.2%、県支出金が5.0%、線入金が6.2%、諸収入が2.5%、町債が6.0%、その他が0.5%、地方譲与税が0.6%、地方消費税交付金が2.0%、使用料及び手数料が1.6%です。歳出の内訳は、民生費が20.3%、総務費が19.7%、公債費が17.4%、教育費が17.1%、土木費が10.2%、衛生費が13.6%、消防費が5.4%、農林水産業費が3.2%、商工費が1.6%、議会議費が1.4%、その他が0.1%です。

●平成31年度一般・特別会計の予算額(歳出)

会計名	平成31年度	歳出の前年度比
一般会計	50億2,000万円	▲3.4%
国民健康保険特別会計	11億1,800万円	▲1.4%
介護保険特別会計	12億4,700万円	2.4%
大字費特別会計	90万円	0.0%
平館財産区特別会計	100万円	0.0%
根岸財産区特別会計	100万円	0.0%
野田財産区特別会計	100万円	0.0%
下水道特別会計	2億600万円	▲33.3%
後期高齢者医療特別会計	9,100万円	▲6.2%
合計	76億8,590万円	▲3.4%

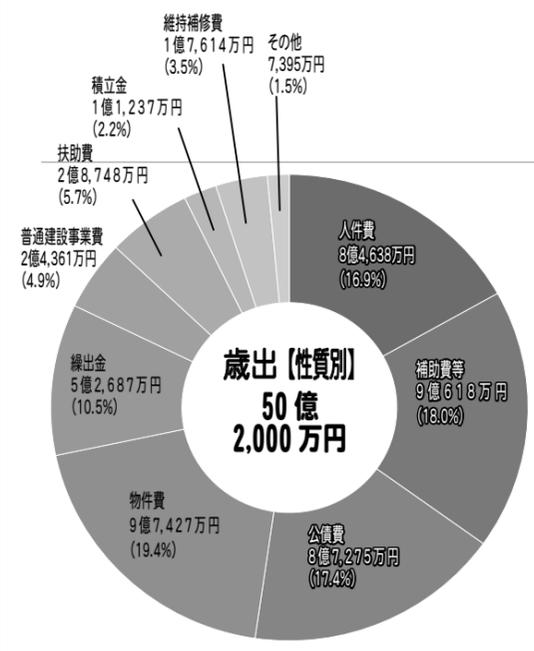
●平成31年度企業会計の予算額(歳出)

会計名	平成31年度	歳出の前年度比
病院事業会計	11億9,888万円	▲6.4%
簡易水道事業会計	3億6,876万円	0.4%
合計	15億6,764万円	▲5.0%

一般会計の、ための

大平山元遺跡整備事業	5,299万円
除排雪機械購入事業	4,600万円
橋梁維持補修事業	4,420万円
給食業務等委託料(平成29年度から給食費5割軽減)	4,140万円
ホタテ養殖残渣運搬処理委託料	1,431万円
各種予防接種事業(インフルエンザ・風疹等)	1,135万円
乳幼児・児童医療給付費	1,080万円
プレミアム付商品券事業	530万円
藤ヶ股沢川改修事業	500万円
海岸漂着物地域対策推進事業委託料	459万円
強い農業・担い手づくり総合支援事業	450万円
高校生通学援助費補助金	288万円
町道区画線設置事業	108万円
移住支援事業(東京圏からの移住者補助)	100万円

一般会計【性質別】



、たが（女）

移住・定住

問 東京からの当町への移住者への補助ということだが、その内容は。

答 東京23区から当町への移住者に対する助成で、該当者1人につき100万円を計上している。31年度は1人分で計上したが、希望が多ければ、補正予算で対応する。

路線バス

問 三厩地区を走る路線バスのサビ等がひどく、観光客にも見苦しい状態である。バスの新規購入などを検討しているか。

答 バスの購入も検討したが、購入は困難であり、リースの活用についても足踏みしている。しかし、ご指摘のように現状、路線バスの老朽化も進んでいるので、早めに改善したい。

防犯灯LED

問 防犯灯のLED化は、旧三町村すべての集落に行き渡ったのか。

答 旧三町村の1834カ所に設置済みであり、稼働している。各地区からは電気料金が半額になったと、好評である。リース料は10年間で計上し、ライトが切れた場合はリースの保証で無償交換を行い、回線等の修繕については、町、自治会が負担する。



防犯灯の下を歩く家族

商品券事業

問 プレミアム付商品券事業について、対象が低所得者と子育て家庭だが、対象となる数をどのように見ているのか。

答 対象となるのは非課税者と、3歳未満の子どもを育てる保護者で、2万5000円分の商品券を、2万円で購入する。低所得者はおおむね1400世帯、2500人程度を想定している。3歳未満の子どもは35人程度と見込んでいる。

骨髄ドナー

問 骨髄移植ドナーの提供者には、1人当たりどのくらいの補助が出るのか。事業所等についても補助を出すと思うが、具体的に。

答 ドナー助成について検討した結果、1日2万円、7日間を上限として助成する。勤務する事業所には、1日1万円、7日間を上限として助成する予定だ。

助成の方法だが、条例の策定などはなく、その都度支払われるということなのか。

答 詳細については検討中であるが、要綱を設置して実施する。

予防接種

問 子供のインフルエンザが流行したが、その個人負担のウェイトが高く、子供たちの親が大変だ。補助がないのかと聞かれるが、町として対応を考えることができるか。

答 高齢者への助成は行っているが、子供へのインフルエンザの助成は現在の状況である。今後はその辺りも視野に入れて検討を進めたい。

健康増進

問 日常の健康教室など、新しいメニューを考えているのか。

答 30年度はなどわーると各支所において、健康相談日を設けて保健師が相談に応じている。31年度は糖尿病性腎症重症化予防の事業を検討している。



いきいき百歳体操

町のイベント

問 港まつりの補助金がいとも通りの予算計上である。イベントについては現状維持イコール衰退と考える。町長も3年目ということ、まつりそのもののスタイルを変える時期に来ている、見直すところがあると思うが、どうお考えか。

答 港まつり自体は県内外でも認知されてきているが、イベントには土日の開催で役場職員が総出で実施するものが多い。それ地域域の活性化や売り上げの収益につながれば良いが、イベントを実施すること自体が目的になっているものもあると感じる。現時点で切り捨てるわけにもいかなないので、今後マイナーチェンジをしながら取捨選択をしていかなければと考えている。また、規模を大きくするのは難しいので、協賛等で対応できればと考えている。

トンネル記念館



トンネル記念館

問 三厩村時代に造られたもので古くなっており、腐食等も激しい。しかし龍飛は日本でも誇れる観光地であり、トンネル記念館は青函トンネル工事の様子を体験できる施設である。大がかりな修繕は難しいと思うが、町の方で何とか力を貸していただきたい。

答 毎年100万円位の補助金を出しているが、今後、トンネル記念館と協議しながら必要な補助金を出せるよう、検討していきたい。

リフォーム

問 住宅リフォーム助成金は毎年予算化されているが、30年度に申し込んだらいつばいと言われたという町民がいた。31年度も予算は400万だが、対象者が多い場合は補正で対応する考えがあるのか。30年度の実績と併せて伺う。

答 30年度は申請が21件で394万3000円の助成だった。31年度も20件分で400万円だが、超えたとしても増額補正する予定はない。

校舎の利活用

問 旧平館小・中学校の今後の活用方針があれば、お聞きしたい。

答 予算は総務費の財産管理費でみている。実際の利用については、様々な角度から意見をいただきながら、有効利用できるように進めていきたい。

問 使われなくなった学校の全国一本の窓口を文

問 平館小・中学校の維持管理の中で、火災保険はそのまま適用されるのか。公有財産であるので、保険は適用される。

答 多くの方の意見や文部科学省の一本の窓口も視野に入れて検討をしていきたい。



旧平館小学校



旧平館中学校

3月補正予算の状況

●一般会計・特別会計

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億6,428万7千円	57億2,917万8千円
国民健康保険特別会計	133万8千円	11億7,304万1千円
介護保険特別会計	2,144万5千円	12億8,188万3千円
大字費特別会計	▲11万5千円	798万5千円
平舘財産区特別会計	▲99万8千円	2千円
根岸財産区特別会計	▲99万8千円	2千円
野田財産区特別会計	▲99万8千円	2千円
下水道特別会計	▲282万8千円	3億1,159万8千円
後期高齢者医療特別会計	▲617万8千円	9,154万6千円

●企業会計

会計名	補正額	補正後の予算額
病院事業会計 (収益的収入支出)	▲5,121万7千円	11億201万1千円
簡易水道事業会計 (収益的収入支出)	▲914万1千円	2億4,436万9千円
簡易水道事業会計 (資本的支出)	▲430万円	1億948万5千円

ただひたすら(女性)

国民健康保険

問 国民健康保険税の子供に対する均等割について、子供支援の対策が全国的にとられているが、我が町でも多くの納税者が困っている。所得のない子供たちに対する均等割を、子育て支援のためになくすべきではないか。

答 国がまだ減免措置を出しておらず、地方公共団体として、国の方針に従わざるを得ない。しかし、この矛盾点については国に要望している。制度そのものも発足当時より良くなっているが、均等割については他の保険と整合性を欠くというのは全国的な共通認識。3人目から2分の1等という市町村もあるが、当町は医療費が1万円ほど伸びており、負担をいただく制度を進めていきたい。

問 自治体が独自に対応した場合ペナルティがあるからやっていないのか。ないと思うが、自治体は考えてやっていくべきだと思ふ。社会保険の場合は均等割はない。少ない子供たちの中でこういう制度を活かしていけば、子育て支援にも力が発揮できる。国の制度どうこうよりも、子供何人目からの免除など必要ではないか。

答 他市町村の制度については広がりを見せているのが事実。また、昨年度までは子どもの医療費を免除している自治体にはペナルティがあった。当町では18歳未満までを無料化し、約1千万円ほど負担している。均等割も負担となると、相当税収見込みが下がってくる。社会保険では事業主が半分負担する。国民健康保険においてはその制度がないのが現状である。



学童教室の子どもたち

問 子供1人あたり均等割2万7800円、医療費負担が5400円で、およそ3万3000円を払っている。2人であれば7万円近い。一気に減免することはできなくとも、半分で

答 もやってみるといふ検討をしていただきたい。国の制度が軽減をするようにになったら、検討したい。

病院事業

問 地域医療構想の中で、プラスになるようなものは進められているのか。

答 医師は青森県立中央病院とのパイプがあり、22ある自治体病院では一番常勤の医師が充足している。また、看護師も病床数、入院患者数、外来患者に向けて4月から新たに正職2名を加え、充足できる状態で運営されている。

問 大きい病院から外ヶ浜に転院する際、連携はうまくいっているのか。

答 県立中央病院・市民病院・新都市病院それぞれ連携室が入っており、連携がうまく取れているので、患者が最適な医療を受けられるシステムになっている。

国民健康保険特別会計に対する反対討論

安藤英博議員

今でも払いたくても払えないという方がたくさんいる。こういう方々の減免対策を、これまでも要望してきたが実現していない。子供の均等割についても、1人当たり3万3000円の負担が強いから、全国的にも減免している自治体が増えている中で、今回の予算にはその方向性が見えないので、予算案に反対する。

介護保険特別会計に対する反対討論

原 芳雄議員

介護保険料が高く、年金が少なく、負担が重い。自己負担は家族にとっても切実な問題となっており、必要なサービスについてもどこでも受けられない。制度を大きく逸脱している。制度の負担縮小と改善を求める。

議案審議トピックス

一般会計補正予算

灯油の助成

問 今冬は、灯油の1リットル単価が100円を超えなかったことで助成されずに終わろうとしている。今別町・蓬田村では100円を超えなくても灯油の助成が行われたが、近隣町村の担当者間で協議したのか。

答 それとも町村ごとでそういう結果になったのか。担当者間では常にやり方等の情報の共有はしている。実施にあたっては、各町村の判断で行うこととしている。

修繕内容は

「総合福祉センター修繕料」として463万円計上されているが、修繕箇所はどこか。また、1月2月と、連続して使用できない施設があり、対応が遅い気がしてならない。補正が遅れた理由も伺う。

答 ぴったり100円とまではいかなくとも、90円を超える場合支給するつもりでいたが、現時点では支給を考慮していない。



ほっぼ湯

問 ぼっぼ湯の灯油地下タンクの修繕、メインボイラーの天井及びホール等の電気修繕。ミルキーバスのインバーターは12月に修繕したが、その後不良箇所が1月に判明し、運営がストップ。低温サウナとミストサウナも1月から電気系統とヒーターの故障、ミスト発生装置の不良により稼働を中止している。建物も18年経過し、部品の製造中止もある。業者にも見てもらったが、なかなか対応策

病院事業会計補正予算

無料定額診療制度

問 どうしても入院や手術しなればならないが、所得が低く、医療費が不安という方のために、県内の3つの病院で、「無料定額診療制度」を導入している。我が町でもこのような制度があれば、患者がお金を心配することなく利用することができるといふので、ぜひ導入してほしい。

答 これまでも、医療費を1回で払えないという方々のために、4回ないし5回の分割で払えないか、本人と相談しながら個々に対応してきた経緯がある。無料定額診療制度については、導入している病院の情報などを調査・研究し、担当課と確認しながら検討していきたい。

が出てこないため、長い休止となっている。



記田慶市議員

水道法改正による町の対応は

■答弁▼水道事業運営権を民間業者に移行する考えはない

◆質問／昨年12月に改正された水道法は、自治体運営から事実上の民営化を認める大幅な改正内容となっている。すでに国内では民営化の移行準備に入った自治体もある。毎日使用する飲料水は全町民の健康と命にかかわることで、飲料水の安全管理は将来にわたり町直営とすべきである。

所見を伺う。

■町長／昨年12月12日に水道法の一部を改正する法律が公布され、水道事業の民営化移行が広く報じられた。御指摘のとおり、安心、安全なおいしい水の提供を将来にわたり維持していくことは、私も同感だ。現状、水道施設の日常及び年間の維持、緊急時対応も含めそれぞれの地元建設業者をお願いしている。水道事業運営権を民間事業者へ移行する考えはない。

と」を柱にした地方創生の第2期事業が来年度からスタートする。これは各自自治体が生き残りをかけて独自に事業をおこし、人口減少、高齢化、地域の過疎化に歯止めをかけるために、計画を国が評価し、後押しするものである。地場産業振興のためには町の限られた財源だけでは無理がある。この事業を積極的に活用し、今こそコンサルに丸投げしない独自の開発をすべきである。

◆再質問／一次産業の振興なくして外ヶ浜町なし。計画策定について、次の3点を提案したい。①農業。水稲育苗施設の集約化と共同化。②林業。町有林、民有林活用

造成。③漁業。なまこ養殖事業。

◆町長／3点上げていたのだが、農林漁業を含め各種産業が活性化されることにより、地域経済が循環し新たな労働力が生まれ、後継者育成につながり、人口減少対策になる。

◆町長／地方創生総合戦略の取り組みについては、町総合計画を基本として進める。中身は総合計画の内容及び変更部分を早く的確に反映させ事業実

◆町長／地方創生総合戦略の取り組みについては、町総合計画を基本として進める。中身は総合計画の内容及び変更部分を早く的確に反映させ事業実

◆町長／地方創生総合戦略の取り組みについては、町総合計画を基本として進める。中身は総合計画の内容及び変更部分を早く的確に反映させ事業実

◆町長／地方創生総合戦略の取り組みについては、町総合計画を基本として進める。中身は総合計画の内容及び変更部分を早く的確に反映させ事業実



蟹田浄水場

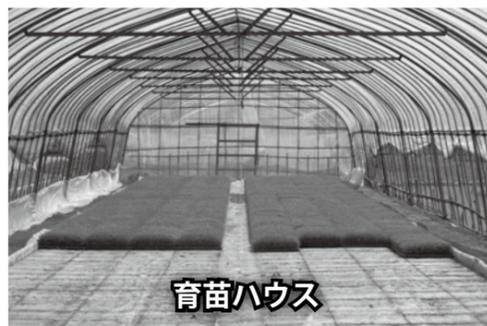
第2次地方創生「総合戦略」の取り組みについて

◆質問／国の重点施策である「まち、ひと、しごと

◆町長／地方創生総合戦略の取り組みについては、町総合計画を基本として進める。中身は総合計画の内容及び変更部分を早く的確に反映させ事業実

◆町長／地方創生総合戦略の取り組みについては、町総合計画を基本として進める。中身は総合計画の内容及び変更部分を早く的確に反映させ事業実

◆町長／地方創生総合戦略の取り組みについては、町総合計画を基本として進める。中身は総合計画の内容及び変更部分を早く的確に反映させ事業実



育苗ハウス



安藤英博議員

子育て支援の充実を

■答弁▼国の責任による見直しがあれば、

対応してまいりたい

◆質問／国民健康保険加入の子どもの均等割は軽減すべきである。会社員などが加入する被用者保険は人数に影響されない。国保は加入する人数によって、所得のない子どもにまで均等割3万3千円徴収される。人数が増えることによってさらに増える。子育て支援のために廃止を求めます。

学校の給食費の無料化を

◆質問／町民そして私どもの質問に対し給食費の3割補助、さらに5割補助へと前進された。無料化を求める質問に対し町当局の答弁では、町の財

政事情を見ながら検討していきたいということであったが、現在その検討がどうなっているのか、答弁を求めます。

◆質問／町民そして私どもの質問に対し給食費の3割補助、さらに5割補助へと前進された。無料化を求める質問に対し町当局の答弁では、町の財

◆町長／消費税の増税や食材等の高騰により購入経費がますます増えていくことが予想され、給食費の値上げも必須になることで財政の圧迫も考えられる。

買い物等弱者支援対策を

◆質問／高齢化が進んで買い物が大変だという方々が増えている。町営バスの路線の組み方や、時間の改善などで高齢者の人が買い物ができるように検討していただきたい。

奨学金は給付型を検討すべき

◆質問／家計の収入が減少する中で学生の保護者の負担は限界である。2人に1人が奨学金を借りている状況にあり、国は国民の世論を反映して給付型奨学金を創設したが、

◆町長／社会的な課題として取り組んでいくことが必要だ。弱者支援対策も含めた生活支援サービス拡充の方策について、関係機関と連携しながら検討してまいりたい。

◆町長／社会的な課題として取り組んでいくことが必要だ。弱者支援対策も含めた生活支援サービス拡充の方策について、関係機関と連携しながら検討してまいりたい。



外で遊ぶ子どもたち



マエダストア駐車場

◆町長／全国知事会では、3年連続で子どもの均等割の軽減を図る予算要望を出してきており、ほかの医療保険制度と公平性を保ちつつ、国の責任による負担軽減等の見直しがあれば、対応してまいりたいと考えている。

◆町長／家計の収入が減少する中で学生の保護者の負担は限界である。2人に1人が奨学金を借りている状況にあり、国は国民の世論を反映して給付型奨学金を創設したが、

◆町長／卒業時に当該奨学金が町にもたらす恩恵が目に見える形でなければ、町民の同意を得る

◆町長／社会的な課題として取り組んでいくことが必要だ。弱者支援対策も含めた生活支援サービス拡充の方策について、関係機関と連携しながら検討してまいりたい。



石岡 勉議員

町長就任後、二年間の取り組みと

新年度予算に込めた思いは

■答弁▼子育て支援の充実に続き、一日も早くホタテ残渣処分場を

◆質問／山崎町政になってから2年が経過したが、この期間をどのように思うか。

■町長／公約の残渣処理を進められなかったことを残念に思っている。次

年度こそは建設までいきたい。また、出産したお母さんに授乳服のプレゼント、高校生の通学定期の補助等、実施することができた。今後、残渣処分場、病院の新築もしく

は大規模改修が見込まれる。

海外PRの発信を

◆質問／町長は海外へのPRも力を入れており、平成30年度に続き新年度でも予算措置しているが、昨年11月に海外で行なったフェアに関し、議会や町民に町長の声を直接伝えるべきと思うが。

■町長／県に対しては報告したが、議会や町民の皆様にもお話しする機会を作りたい。

280号バイパス整備について

◆質問／先般12月に議会



280号バイパス

へ県当局から整備の説明があったが、来年度の予算は今までほど見込めない。また、計画も1年位遅れが予想されるなどのことだった。計画通り完成させる為には、国や県に対する働きかけは1回、2回やっても効果が無い3回でも4回でも足を運ばなければダメだと思うが、町長の決意を伺う。

土地所有者や地権者の窓口

◆質問／土地所有者、特に住家が対象になっていく方は、自分がいつ立ち退くのが一番の不安である。不安を解消する為には町が一番の窓口となるべきだが。

■町長／地権者、所有者から担当課に対しての照会はないと聞いているが、疑問など有する方は遠慮なく建設課等に連絡をいただければ対応する。



◆質問／12月議会に引き続き質問をする。三既地区の高齢化率は54%で、まさに高齢化社会に突入という状態にある。マイカーを使えない人、今後使えなくなる高齢者は三既地区だけではなく外ヶ浜町全体でも予想以上に



原 芳雄議員

高齢者の「足」を守る予約式乗り合いタクシの導入を

■答弁▼高齢者の問題に取り組み

生活支援コーディネーターの育成を図ることで対応する

ふえてくる。高齢者など移動手段を持たない人がいつまでもこの地域で元気に暮らしていけるように支えていくことは町政の務めである。公共交通空白地有償運送の制度を活用して「予約式乗り合いタクシー」の導入を図り、高齢者の「足」を守るべきだ。

■町長／地域で今何が問題で、何が必要であるのかなどの情報を集め生活維持に向けた事業構築を進めていきたい。

◆質問／国土交通省は地域の交通確保、維持、利便性の向上等の取組みを支援している。2017年度の補助金実績は89億6000万円、事業者数231、47都道府県

除雪利用条件の緩和を

◆質問／高齢者や障害者世帯等で除雪が困難な世帯に対し町と社協が連携して除雪サービス事業を行っている人が何人か。①除雪対象者として、この町に親族がいないこと、い

ても親族が75歳以上又は病気等で除雪の支援を受けられない方となっている。親族がいたとしてもそれぞれの自宅前の寄せ雪や、車庫前の除雪など

一人暮らし高齢者の生活支援を

で精いっぱいをお願いすることは極めて厳しい状況ではないか。

担い手、運営経費の捻出、利用可能な居住先の確保など様々な課題があり、福祉施策の一つとして検討していく必要があると考えている。

外ヶ浜中央病院の広域化を

◆質問／上磯の中核病院として機能の拡充、強化のために広域化を目指すべきではないか。

◆質問／冬期間（12月、3月）は、一人暮らし高齢者は雪、買い物等大変である。共同生活の場を設けるべきではないか。

■町長／高齢者の共同生活には、運営する組織や

■町長／昨年6月に設置した「外ヶ浜中央病院整備基本構想検討委員会」から答申が出された時には、議員と今後のあり方について協議をし、その結果次第では蓬田村、今別町とも話し合うことが必要と考えている。

長年の議会活動に功績

原芳雄議員、福井賢一郎議員に表彰状

平成31年2月19日、青森市で開催された県町村議会議長会第69回定期総会において、原芳雄議員が27年以上の功勞により全国町村議会議長会から、福井賢一郎議員が19年以上の功勞により県町村議会議長会から表彰されました。



表彰された原芳雄議員



表彰された福井賢一郎議員

第111回定例会

請願

第4号

若い人も高齢者も安心できる年金を求めめる意見書採択の請願

【提出者】

全日本年金者組合青森県本部執行委員長
千代谷 邦弘

【紹介議員】

原 芳雄
安藤 英博

【付託常任委員会】

総務文教常任委員会

【委員会の意見】

平均寿命が延びる中で、若い人も高齢者も安心できる年金制度の確立が必要であることから、本請願は「採択すべきもの」と決定した。

【本会議での採決】

採択 賛成多数

請願

第5号

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願

【提出者】

青森県労働組合総連合議長
奥村 榮

【紹介議員】

原 芳雄
安藤 英博

【付託常任委員会】

総務文教常任委員会

【委員会の意見】

地域経済の活性化を図るためには、最低賃金の大幅な引き上げと、中小企業支援に向けた施策の拡充が必要ことから、本請願は「採択すべきもの」と決定した。

【本会議での採決】

採択 賛成多数

三厩本町地区融雪溝整備事業

平成30年度一般会計補正予算案及び、工事の請負契約2件について審議し、原案のとおり可決されました。

三厩本町地区融雪溝整備事業繰越明許費 646万2千円を可決



三厩本町地区

◆質問／融雪溝の整備の残り工区は31年度で終わるのか、もしくは延長計画があるのか。
■回答／繰越明許で31年度に繰り越すと、それ以降旧三厩支所があった

方（旧道沿い）にも延ばしていきたくは考えている。平成32年度までは工事が続くものと予想している。

◆質問／今手がけている所は、出来次第順次供用開始ということであるのか。

■回答／新町地区と旧本町地区の一部については、平成31年度から一部供用開始ができる。

その後、旧支所方面については、新たに取水施設を作りながら、平成32年度の供用開始を目指すこととしている。

ライスセンター建設工事に伴う請負契約 総額1億7895万6千円を可決

◎外ヶ浜町ライスセンター建屋建設工事

- ・ 契約業者 内海工業株式会社
- ・ 請負金額 1億1005万2千円

◎外ヶ浜町ライスセンター生産設備設置工事

- ・ 契約業者 ヤンマーアグリジャパン株式会社
- ・ 請負金額 6890万4千円



ライスセンター地鎮祭

青森市議会を訪問



4月19日に青森市が平成31年度分の当町からのホタテ貝養殖残渣の継続受入れを決定したことを受けて4月22日、外ヶ浜町議会で青森市議会を訪問しました。

当日は、青森市議会の「自民・志政会」への要望と意見交換を行った後に、各会派を訪問し、ホタテ貝養殖残渣受入れに対するお礼と今後についてのお願いをしました。

私たちが外ヶ浜町議会議員です



議長
鈴木 進

議席番号 11 番
昭和 31 年 2 月 9 日生
蟹田鰯ヶ淵 22-24
当選回数 7 回
【委員会等】
議長
総務文教常任委員会



副議長
記田 慶市

議席番号 10 番
昭和 16 年 4 月 16 日生
蟹田 151
当選回数 5 回
【委員会等】
副議長
総務文教常任委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会



福井 洋一

議席番号 1 番
昭和 30 年 6 月 9 日生
平館根岸山居 55
当選回数 1 回
【委員会等】
総務文教常任委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会
広域事務組合議会議員



浜谷 恭市

議席番号 2 番
昭和 38 年 4 月 5 日生
三厩算用師右平野 4-2
当選回数 4 回
【委員会等】
総務文教常任委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会



戎 修

議席番号 3 番
昭和 34 年 1 月 4 日生
蟹田 78-2
当選回数 5 回
【委員会等】
産業建設常任委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会



石岡 勉

議席番号 4 番
昭和 32 年 8 月 8 日生
蟹田中師宮本 18-1
当選回数 5 回
【委員会等】
産業建設常任委員会



高坂 茂

議席番号 5 番
昭和 27 年 4 月 7 日生
平館後田 73
当選回数 7 回
【委員会等】
産業建設常任委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会



三上 満

議席番号 6 番
昭和 37 年 10 月 10 日生
三厩増川 210
当選回数 7 回
【委員会等】
産業建設常任委員会
議会運営委員会



杉谷 和穂

議席番号 7 番
昭和 21 年 9 月 20 日生
三厩龍浜 54-274
当選回数 8 回
【委員会等】
総務文教常任委員会
議会運営委員会



原 芳雄

議席番号 8 番
昭和 10 年 1 月 30 日生
三厩増川 107-4
当選回数 8 回
【委員会等】
産業建設常任委員会
議会広報特別委員会



安藤 英博

議席番号 9 番
昭和 27 年 7 月 7 日生
蟹田丑ヶ沢 6-31
当選回数 10 回
【委員会等】
総務文教常任委員会
議会広報特別委員会
広域事務組合議会議員

議会広報特別委員会

委員長: 安藤 英博

副委員長: 福井 洋一

委員: 浜谷 恭市 / 戎 修

高坂 茂 / 原 芳雄

記田 慶市

外ヶ浜町議会の新体制がスタートした。今後の任期 4 年間、当町が抱えている課題を、町民総参加で町を動かしていければと考えている。

広報特別委員に選出された委員の皆さんと力を合わせ、議会の動き、議員の質問・質疑など幅広く町民の皆さんに公平・公正に、そとがはま議会、たよりを通して伝えていきたい。楽しく読んで見てもらえる議会、たより発行に頑張つて参りたい。

町民の皆さんからのご意見や感想、声などをお寄せいただければ、今後の議会、たより発行に活かしていきたいと思う。

一人でも多くの町民の皆さんが参加できる機会を増やしていくためにも、ご指導・ご協力をよろしく願います。

安藤 英博

編集後記